

野部 真子

旭川北都保健福祉専門学校 2019年度卒業

東病棟 5階ナースステーション所属

(循環器内科・皮膚科)

● 市立旭川病院を就職先に選んだ理由は？

学生のころから急性期病院で働きたい、急変に対応できるスキルを身につけたいと思っていました。東5に実習へ来た時に、忙しさに追われながらも患者さんに寄り添いながらケアをおこなっている先輩方を見て感銘を受けました。循環器疾患や心電図に興味がありましたが苦手意識があり、克服して少しでも理解を深めたいと思い、当院に就職しようと決めました。

● 看護師になって良かったと思うこと嬉しかったことは何ですか？

患者さんと多くの時間を共有して、患者さんが困っていることや希望していることなどを話し合いながら、医師や理学療法士など多職種と協力してかかわることで患者さんからの感謝の言葉をいただいた時や、笑顔になってくれた時はとても嬉しいですし、やりがいを感じます。

● 看護師になってつらかったことは何ですか？そしてそれをどのように乗り越えましたか？

急性期病棟で患者さんの状態が悪化してしまった時はもちろんですが、急な知らせを聞いて家族が駆けつけ、動揺している姿や涙を流している姿を見ると辛くなります。何が起こるかわからない毎日ではありますが、一緒に仕事をしている先輩や同期と励まし合いながら乗り越えて、患者さんに寄り添う看護を提供できるよう日々頑張っています。

● 当院に就職を考えている方へ一言どうぞ！！

忙しい病棟ではありますが、職場の雰囲気も良く多くの知識や技術を得ることができると思います。みなさんもぜひ一緒に働きましょう。



星屋 和輝

旭川市医師会看護専門学校 専門課程2科 2019年度卒業

西病棟7階ナースステーション所属

(血液内科・神経内科・糖尿病代謝内科・放射線科)

● 市立旭川病院を就職先に選んだ理由は？

市立旭川病院はプリセプターシップ体制を採用しており、新人教育体制がきちんと確立されているため、初めて看護師として働く場としてとても良い環境にあると感じ、就職先に選びました。

● 看護師になって良かったと思うこと嬉しかったことは何ですか？

患者さんの視点に立ったケアを丁寧に続けたことで患者さんから感謝の言葉をいただけたことです。その言葉で、自分がやってきたことが間違っていなかったと自信にもつながりました。

● 看護師になってつらかったことは何ですか？そしてそれをどのように乗り越えましたか？

自分の知識不足や技術不足により、患者さんに不利益が起こしそうになったことがありました。その情けなさで悔しい思いもしましたが、同じことを繰り返さないという気持ちで勉強や技術練習を日々続けています。

● 当院に就職を考えている方へ一言どうぞ！！

教育体制が整備されているだけでなく、当院の職員は、一緒に働く仲間としてお互い助け合いながら日々ケアにあたっています。新たな環境で働くことは不安も大きいと思いますが、職員一同が温かく迎えてくれます。私も一緒に働くことを楽しみにしています。

● パパさん看護師として市立旭川病院に勤めてよかったと思うことはありますか？

勤務1年目で子供を授かり、金銭的な不安もありましたが、福利厚生が充実しているおかげで、今もすくすくと子供が育っています。また、休暇希望に配慮してくれることで子供のイベントに父親として一緒に参加でき、子供の成長を感じることができとても嬉しく思います。

宇田 守

旭川大学保健福祉学部保健看護学科 2018年度卒業

西病棟4階ナースステーション所属

(呼吸器内科・胸部外科・総合内科・眼科)



● 市立旭川病院を就職先に選んだ理由は？

看護師でありながら公務員として働くことになるため、給料が安定しやすいと思って市立旭川病院を就職先に選びました。

● 看護師になって良かったと思うこと嬉しかったことは何ですか？

患者様が退院していく時が嬉しく思います。病気と闘っていた患者様が笑顔で退院でき、その際に「ありがとう」と言われるととてもうれしいです。また、当院は急性期の病院であるため、患者の日々の変化（例えば術後の患者様が早期に離床ができたことや、尿道留置カテーテルが抜けてトイレで排泄できるようになった）など患者様の目標を達成するために関り、その目標を達成した時が嬉しく思えるし、看護師として働くやりがいに繋がっています。

● 看護師になってつらかったことは何ですか？そしてそれをどのように乗り越えましたか？

私は仕事を早く覚えられない方ではなく要領も悪く、仕事や職場になかなか慣れることができず、自信が持てなくて精神的にしんどい時期がありました。

そんな時、配属部署を考慮していただき、異動先でうまく環境に適応できるように、たくさんのサポートをしてくださいました。加えて、小さい目標を立て、それを達成させるために勉強して、先輩の技術を見学し一つずつでもできることを実践していきました。また、当院では第2・第4木曜日に職員相談室が開かれており、仕事やプライベートでの悩みを相談することができます。仕事でうまくいかないことや家族との関係など、自分がしんどいと思うことを気軽に相談でき、話を聞いてくれる環境もあります。一人で抱え込むことは心身ともにとっても辛くなってしまいます。私の経験から、誰かに話すということがとても大切だと思います。

● 当院に就職を考えている方へ一言どうぞ！！

当院は自分のペースで成長することができると思います。そのため、できないことをしっかりクリアしてから、着実にステップアップすることができます。また複数のプリセプターがいて、年齢も近いので相談しやすく、話がしやすいと思います。是非、一緒に働きましょう。



竹田 翔哉

北海道立旭川高等看護学院看護学科 2014年度卒業

西病棟4階ナースステーション所属

(呼吸器内科・胸部外科・総合内科・眼科)

● 市立旭川病院を就職先に選んだ理由は？

学生の時にいくつかの病棟で実習させてもらいましたが、市立旭川病院での実習ではどの病棟も雰囲気の良いと感じたので、就職するならこの病院にしようと思いました。また、それぞれの病棟に男性看護師がいたので、自分がこの病院で勤めることになったときにとても心強いなと思いました。

● 看護師になって良かったと思うこと嬉しかったことは何ですか？

一番は患者様が笑顔で退院される姿を見られる時が嬉しく感じます。私は胸部外科病棟での経験が長いため、術前の不安や術後の疼痛など、患者さんのつらい時期を間近にすることも多いです。しかし、そういった時期を乗り越えて元気に退院していく姿を見られることが良かったと感じます。

● 看護師になってつらかったことは何ですか？そしてそれをどのように乗り越えましたか？

業務や疾患、治療法など、配属してすぐは覚えることが多く大変でした。先輩方が自分たちの勉強方法やポイントを教えてくれて、多くの人に支えてもらい乗り越えることができました。

● 当院に就職を考えている方へ一言どうぞ！！

市立旭川病院は一人一人のペースに合った指導をしていて、新人の時にも安心して看護を行っていくことができました。市立旭川病院が気になっている方がいましたら、ぜひ一緒に働いてみませんか？